

特集 ベトナム戦争で生まれた戦争土産 ベトジヤン

構成/コンバットマガジン編集部 文/小倉 徹

Cover Photo
Shutterstock.com, WPP Collection
© WORLD PHOTO PRESS 2020
※本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

CONTENTS

004 第26回 サイゴン物語 Saigon Memories

記者たちのベトナム戦争 [3]

029 The Equipments of the U.S. Force [現用米軍装備カタログ] 1990年代の米国陸軍 第75RANGER部隊装備特集 Part1

040 ウェスタンアームズ注目の新製品!

- Report 1 SIG1911
ブラックウォーター アルタモント・グリップVer.
 - Report 2 BERETTA M92FS
ダイハード・バトルダメージVer.
 - Report 3 COLT M4A1 アメリカン・スナイパーS Ver.
- Photos & Text by SHOTGUN MARCY

050 新製品情報 COMBAT mono

052 東京マルイ 今昔物語 広報課 by Takeo Ishii

058 トイガンニュース TANAKA WORKS

- S&W M29クラシック 8 3/8インチ スチール・フィニッシュVer.3
- S&W M500 8 3/8インチ ステンレス・ジュビター・フィニッシュVer.2
- S&W M19 4インチ・コンバット・マグナム HW Ver.3 (モデルガン)
- SIG M11 EVO2 / フレームHW (モデルガン)
- プラス・ウエイト・グリップ・シリーズ
- M29オーバー・サイズ / ウォールナット・チェッカー・グリップ
- M19スクエア・タイプ / ウォールナット・チェッカー・グリップ

061 THE グリーンベレー ●文と写真/DJちゅう GREEN BERET 番外編 Japan Milsim Event 2020.9.20-21 #MilsimFarEast Mason_rock.V3 Phase.4

068 ニッポンのちからこぶ ●写真と文/菊池雅之 02北演 令和2年度 方面隊実働演習

Militaria Roundup! 072 紙物で見るWW2 GI PART2



078 シン・サバゲ三等兵 世代交代! サバゲ三等兵 次世代エアソフトガン大量投入! その実力は如何に!

ミリタリーアイコン

腹が減っては戦いはできない——。

082 ジャングルのパン屋さん

図解エンサイクロペディア

088 ミリタリーとファッション

Illustration and text/M. Kelly

098 サバゲ三等兵APS部 2020“幻の”APSカップ本大会レポート!

COMBAT FRONT LINE

- 008 速報! 2020 World Speed Shooting Championship “STEEL CHALLENGE”
- 010 函館サバゲ
- 012 新作映画情報「ストレイ・ドッグ」「ヒトラーに盗られたうさぎ」
- 095 【好評連載】Stringer Blues 写真・文/横田 徹
- 100 コラム ベトナムを遠く離れて——。文/小倉 徹
- 102 ツゲチヨリ☆ DIYでガンラック製作編
- 103 レアミリタリーテクノロジー
- 104 ミリタリーセレクトショップ 坂地組
- 105 ゲームOTT「次世代を担う新型機・PlayStation5」
- 109 PRESENT & CIC
- 110 バックナンバー
- 111 奥付&次号予告



ミリタリースポッター

At night, U.S. Air Force F-16 Fighting Falcon conducting aerial refueling operation with a KC-135 Stratotanker out of Kandahar Airfield, Afghanistan.

空中給油を受ける航空機といえば、ベトナム戦争時代に有名になったF-105Dがいる。ガロワ嬢と呼ばれた彼女は、F-105Dの機首の上でたいへんにルードな姿態を見せつけていたせいだと思われる。この時、給油に駆けつけたのもKC-135のタンカーであった。空中給油そのものが、長い時間の訓練を必要とするが、上の写真にあるKC-135は、その難しい作業を夜間行っている。

Photo/U.S. Air Force/SSgt. Keifer Bowes

ベトナム戦争で生まれた 戦争土産 「ベトジャン」は その頂点で、 屹立した地位を誇る。

「ベトジャン」と呼ばれる、ここまで精緻な世界を招き開いた刺しゅう入りジャケットのキープレーヤーは兵士とベトナムの刺しゅう師たちである。さらには、目には見えないけれど、彼らの背後には遠く日本に置かれた米海軍、ネーバルベース横須賀の存在がある。スカジャンを生み出した群馬県桐生の横振りミシンを踏む刺しゅう師たちの影響力も見逃せない。

構成／コンバットマガジン編集部
文／小倉 徹

スーベニールジャケットがベトナムの冠をいただいた瞬間に引力を生む。世界は重層的に、魅力は増し増しでまるでジャングルのように出口が見えない。





白い生地のは比較的战争初期に多く見られる(後年でももちろん存在する)。大抵、丁寧な刺繍が施され、テイラールベルがついていたりする。保存していても白はすぐ汚れてしまう為、店頭での吊るしというよりは比較的上品な店などで売られていたのではないだろうか。別ページの憲兵と思しき兵士のベトジャンは総リバーシブルで、刺繍も両面に入っている豪華版。ゆうに2着分の値段はしたであろう。

ベトジャンは、主に南ベトナム製のものが多い。しかし、ページ上段左の“スカジャン風”ベトジャンは元はスカジャンデザインだったものを、日本に寄港するベトナム帰休兵たちを当て込んで製作された日本製だ。当時の東映に衣装としてあったようで、いくつかの映画で与太者が着用している姿が見られる。ページ下段右の紫のベトジャンはタイ製。同様の品が映画「サイゴン(OFF LIMIT)」で土産物として登場する。映画のロケ地もタイだ。ページ上段右のグラデーション刺繍がきれいなSAIGONベトジャンは、映画「SEARCH AND DESTROY」で黒人帰還兵が着用しているものとよく似ている。

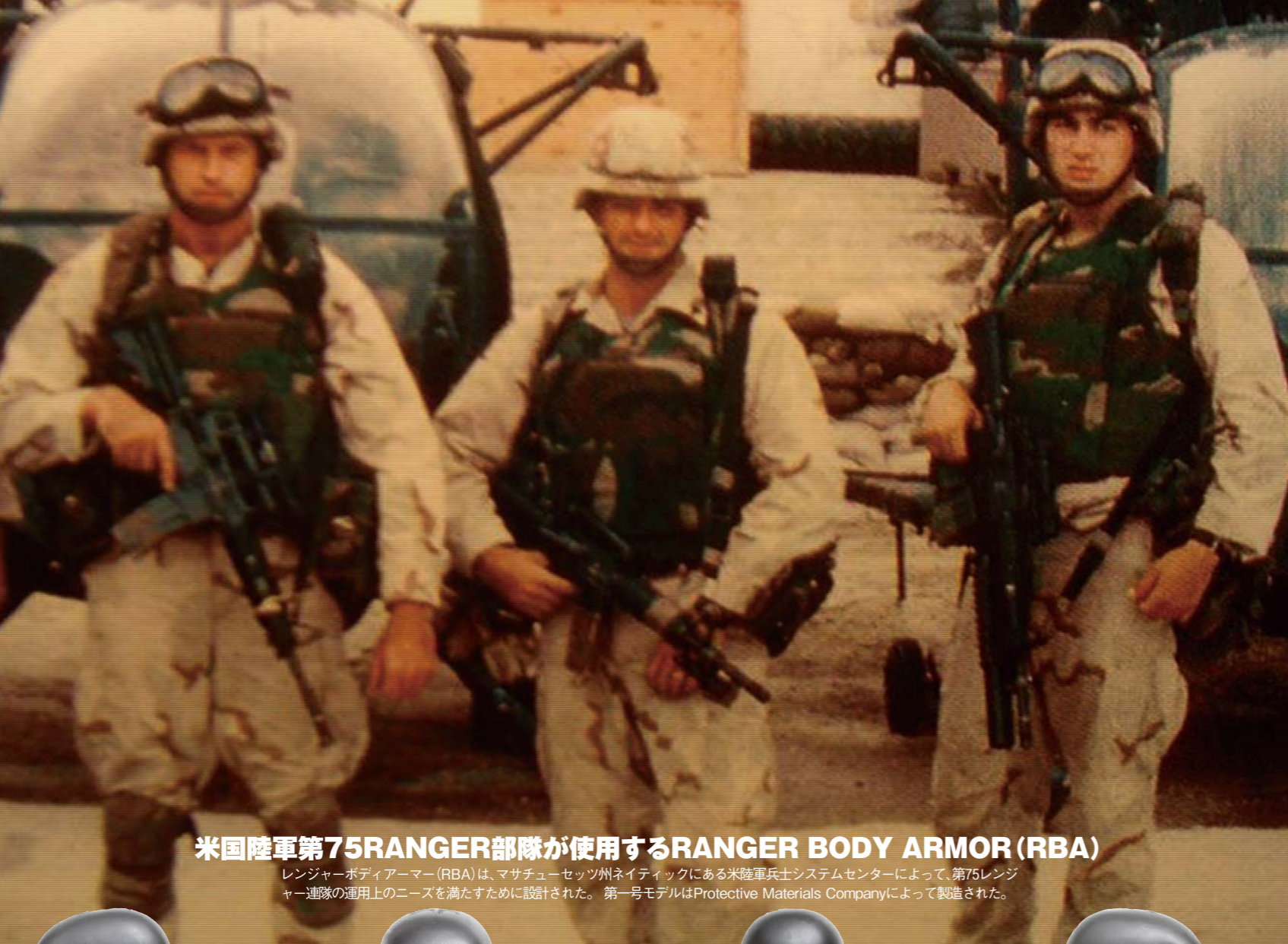


第180回 [現用米軍装備カタログ]
1990年代の米国陸軍 Part 1
第75RANGER部隊装備特集

映画「ブラックホークダウン」のヒットで脚光を浴びたレンジャー部隊。今回から映画では再現しきれなかった強襲装備を紹介し、彼らの装備が当時の米軍一般歩兵の一步先をゆく歩兵装備であった事を説明していこう。パナマやソマリアでの教訓から無線機系統や装甲装備までもが強化されている。

●解説:松原 隆 ●撮影:山崎 学 ●協力ショップ:LAZY CAT、ガミーズ、トイソルジャー、TRI'S(旧特工工房) ●協力:Bonz Or(香港)、木島秀邦

THE EQUIPMENTS
OF THE U.S. FORCE



米国陸軍第75RANGER部隊が使用するRANGER BODY ARMOR (RBA)

レンジャーボディアーマー (RBA) は、マサチューセッツ州ネイティックにある米陸軍兵士システムセンターによって、第75レンジャー連隊の運用上のニーズを満たすために設計された。第一号モデルはProtective Materials Companyによって製造された。



フロントのみに防弾プレート装備するRBAの初期バージョンは、1993年ソマリアでのオペレーション・ゴシックサーベント (1993年8月22日～1993年10月13日) の戦闘で採用され、タスクフォースのRANGERが最初にソマリアのモガディシュで使用した。しかし前面のみの防弾プレート仕様だったため、背後から撃たれて重傷や死亡者が出る結果となる。SGT James Joyceも背後から撃たれ死亡した事から、背面にも防弾プレート装備するセカンドモデルが登場する事になる。



左右からエラストック製カマーバンドが体を締めつけて固定する。

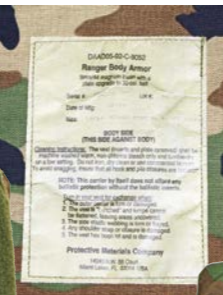


背面には防弾プレートのポケットがない初期モデル。



フロント内側。当然、拳銃弾や破片から身を守れどもAK74などのライフル弾は貫通してしまう。

フロント・パネルとリア・パネルをしっかり固定する為のベルクロ・テープ。



コントラクトや製造メーカー、クリーニング等が表記されている。



リア内側。内側で体に直接固定するエラストック・ベルトが付属する。



RBAは2つの主要コンポーネントで構成されており、柔軟なソフトアーマーベストパネルと、1つまたは2つの硬質セラミックプレートで、どちらも胴体上部を弾道から保護している。柔軟なソフトアーマーベストパネルは、アラミド (Kevlar KM2) フィラーを使用している。



フロント側



リア側



8ポンドの防弾セラミック・アップグレード・プレートは、2"x 2"の酸化アルミニウム・セラミック・タイルで作られている。5.56×45mm NATOおよび7.62×51mm NATOフルメタルジャケット弾から数発守ってくれる。「落とさないように(割れる為)」と表記されている。



マジックで消された部分はDAAD05-92-C-9052。1992年に契約が完了している事を示す。



THE EQUIPMENTS OF THE U.S. FORCE

SIG 1911 BLACKWATER ALTAMONT GRIP Ver.



**SIG1911ブラックウォーター
 (アルタモント・グリップ・バージョン)**
 ●全長:約236mm ●装弾数:23+1発
 ●銃身長:約114mm ●価格:5万1,700円
 ●重量:約886g ●絶賛発売中!!

スライド・トップに機械加工で再現されたブラックウォーターのトレッド・マーク。メタル・チャンバー・カバーは言うまでもなくSIG刻印タイプが組み込まれている。

実銃用ウッド・グリップを装備した ヨーロピアンM1911クローン、 SIG1911ブラックウォーターカスタム。

現在、世界中で数多く製作されているクローン・ガバメントの中で、独自のコンセプトを強く打ち出して注目を集めているのが、スイスの銃器メーカー、ジグ・ザウエルのSIG1911 (GSR) だ。

M1911のデザインは、1世紀を超える長い歴史を誇り、傑作セミオートのひとつとして完成されている。そのため、十分に検討を重ねてアレンジしないとバランスが崩れ、往年のM1911ファンに不自然な印象を与える外観になりかねない。ほとんどのクローン・メーカーが、外観をほぼそのままコピーし、近代的な製作方法による精度アップと、外装パーツのアレンジで独自性を主張している理由がそこにある。そんなM1911を、自社の人気シリーズと融合させて大胆にリメイクしたのがSIG。ガ

バメントをベースとしながら、P220シリーズのイメージを継承するスライドと、タフなイメージで、大きな成功を収めている。

ヨーロッパの銃器メーカーが製作する多くのセミオートは、流麗なラインを特徴としてきたが、1900年代後期になるとアメリカの銃器関係者を開発アドバイザーに迎え、剛健なイメージのセミオートを製作するようになった。SIG1911も、そんな傾向の中で登場したクローン・ガバメント。SIGは、シューティングのプロが認めるガバメントの信頼性と優れた操作性に、最新のP220シリーズの質実剛健なイメージを融合させて、ほかのメーカーとはまったく異なる、独自のクローン・ガバメント、SIG1911を創り出したわけだ。

ブラックウォーター・カスタムは、

SIGが作り出したクローン・ガバメントをベースに、アメリカの大手PMC、ブラックウォーター社が、SIGとのコラボレーションでデザインしたタクティカル・カスタム。要人警護からアメリカ政府関係の軍事コンサルティングまで、広く活動するブラックウォーターのオフィシャル・モデル的なポジションで、2009年にリリースされた。コンパクト・シチュエーションでのパフォーマンス向上を追求したパーツ構成はもちろん、特殊活動を視野に入れたサイレンサー・スクリュー付きの、スペシャル・バレルを組み込んでいる。

ウエスタンアームズ(以下:WA)では、これまで硬高質感と重量に定評のあるCBHWを素材に、マット・

S&W、コルトなど、多くの著名な銃器メーカーが純正として採用するアルタモント製のウッド・グリップを標準装備。SIGのロゴ、シャープなチェッカーなどを再現した豪華なグリップだ。



右:島村 優 (しまむらまさる) さん、(株)東京マルイには2001年入社。現在も同社営業部・広報担当。左:石井 健夫 (いしいけんお)、1996年1月~1999年9月まで同社企画室・広報課に在籍。以降フリーランスとなり、COMBATマガジンでも執筆中。対談は東京マルイ本社会議室にて。デスク上には2人それぞれの「思い出に残る東京マルイ商品」を並べて。

TOY GUN REPORT

**東京マルイ広報課
今昔物語**

Interview: Masaru Shimamura (Tokyo Marui), Takeo Ishii
Photo & Text by Takeo Ishii

話題のAKMガスブローバック、新機軸コンシールドキャリーガスガン、そして拳銃ファン狂喜乱舞のP320、さらに電動ガンの新展開もあるのか!? 2020~2021年末年始に向けた怒涛の新製品ラッシュを目前にした東京マルイ本社にて、本誌が日頃お世話になっているデカ広報=島村優氏vs元マルイ社員COMBATライター石井健夫が緊急対談! 業界TOP企業の情報発信・販売促進の最前線に立ってきた2人は何を語るのか?

東京マルイ広報課のお仕事

COMBAT 石井さんが東京マルイに在籍してらしたのはいつ頃ですか?

石井 入社が1996年1月15日。最後の出勤は1999年9月15日で、3年9カ月の在籍期間でした。今でも日付をよく覚えてるんですよ。もう辞めてから20年以上ですか。早いなあ、時間が経つのは!

島村 ぼくやほかの社員の印象だと10年ぐらいいらっしゃった感じなのですが、意外に短い期間だったんですね。

COMBAT それだけ石井さんの活動内容が濃かったんじゃないでしょうか(笑)?

石井 広報課ってのは人前が出るのが仕事だから、目立って印象に残っているのかも知れないね。島村

さんや元同僚の社員の皆さんにそう言っていただけなのは嬉しいですよ。確かに在籍中はバタバタと忙しくしてましたねえ。

COMBAT どのメーカー様にもショップ様にもメディア対応の担当者様がいらっしゃるんですけど、多くの場合は社長ご自身だったり、営業、技術、あるいは店長など、ほかの業務を兼任されています。20年以上前からマスコミ対応=広報の専任部署を設置されていたトイガンメーカーは東京マルイさんだけですよね?

島村 石井さんが入社される数年前「RCゴジラ」が発売され、東京マルイも広報の必要性を痛感したのだそうです。テレビやラジオから商品紹介の依頼が殺到し、当初は営業部長(=現社長:岩澤隆弘氏)が対応していたのですが、収録の都合で入り時間が早朝

**M92Fミリタリーモデル
ガスブローバック**
●全長:217mm ●重量:862g
●価格:14,080円



デコッキング機能は省略、HOPは固定、マークや刻印もマルイ・オリジナル、と、徹底的にシンプル化を図ったコンセプト&設計で先行他社メーカー比2/3の価格を実現! 今もまだ売れ続けているベストセラー・ガスブローバック。

先代の専務・岩澤隆弘氏が最後まで妥協せぬ執念で仕上げたM92Fのマガジンは、メカニズムを一新しリニューアルされたUPグレード版の「M9A1」や「U.S.M9ピストル」にも共用パーツとして引き継がれている。●ガスブローバック・M92Fシリーズ用マガジン3,278円

2002年と2003年のIDPAナショナルズ(=全米選手権)にはM92Fパーツで出場。東京マルイ/M92Fミリタリーでの訓練の日々が「クラス優勝」と「High PRESS(=報道関係者TOP)」という好成績に繋がった!



だったり拘束時間が深夜にまでおよぶ等、通常業務との兼任が困難に。それでゲーム業界や玩具業界から広報宣伝の経験者を募った、と聞いています。

石井 で、ぼくが入った時点ではそんな先輩たちが3人居られたんだけど、誰もクルマの運転が出来なくてイベント出張や展示物の輸送などほかの部署に頼まなきゃならなかった。それとやっぱり主力製品はトイガンなので、もう一人採用するのなら銃に詳しい人が良からう、って事でその募集広告は求人誌ではなくCOMBATに掲載されて、それを今のカミさんが見つめてくれて応募したの。

COMBAT へえ〜! じゃあCOMBATが石井さんの人生のターニングポイントに重要な役割を果たしたんですね〜!

石井 そうそう。本当にお陰様で(笑)! 大学を出て就職したのが外資系の化粧品会社で、もう末期だったけど「バブル入社組」だったから給料も待遇も凄く良かったんだけど、入社5年目あたりから自分が営業で売り歩いてるヘアカラー剤や高級なシャンプーとかって「俺の人生には別に無くても良いモノばかりだなあ……」って思い始めてしまっただけ。毎日の違和感がドンドン膨れ上がってたところに今のカミさんが「ねえ、売る物がMP5とかだったら少しは気が晴れるんじゃないの?」って差し出して来たのがそのCOMBATだったんだよね。

島村 石井さんがいらした頃の広報課の活動ってどんな感じだったのですか?

石井 まだ携帯電話どころか自分専用のパソコンを持ってた人も多くない時代でしたよ。だから文字通り「足で稼ぐ」感じ(笑)。毎月の専門3誌(月刊Gun、Armsマガジン、COMBAT)への対応と並行して、一般誌やTV、ラジオにも東京マルイ商品が露出するように、広告代理店やさまざまな企業さんと色んな仕掛けをやったなあ。それと「東京マルイのブースが来る!」ってのが当時からイベントやサバイバルゲーム大会の「格」を表すステータスになってたから出展依頼がひっきりなし。ほぼ毎週末どこかに出張していたね。

島村 当時も今もイベントに来るお客様たちってのは「熱量」がすごいですからねえ!

石井 前の化粧品会社では、既に他社製品で飽和状態なお客さんに自社商品を売り込まなきゃならないワケ。



**AKスベツナス
電動ガン/ホビーショー限定モデル**

1997年ホビーショー限定品として企画された、東京マルイ初の「実銃が存在しない架空の銃」を商品化した電動ガン。サバゲでの機動性と使い勝手に特化したストックレスのショート&ブラックボディに600連射マガジンを標準装備しスマッシュヒット! 東京マルイが新しい扉を開く契機となった記念すべき1作。



AK STORM 次世代電動ガン
●全長:715mm/790mm
●重量:2,985g(空マガジン、バッテリー含む)
●価格:58,080円

サバゲ特化型AKカスタムの流れを脈々と受け継ぐ次世代電動ガン。拡張性を高める小物オプションパーツもたくさんオマケで付けてくる。

「もうお腹一杯で少し肥満気味な人にさらに無理させて飯を食わせる」ような仕事をしないと会社が課すノルマを達成できないんだよ。でも東京マルイは新製品を出す側からドンどん売れちゃう。問屋さんもショップさんも顔を合わせれば「もっとウチに商品を廻してくれ!」だし、一般ユーザーからは「次はアレを作って!」、「この銃はまだ出ないのか?」とリクエストの嵐ですからね。それまで生きてきたビジネスの世界とはまるで真逆のダイナミックさに、「東京マルイってスゲーなあ!」っていつも思っていました。

記憶に残るアイテムとは?

COMBAT さて、今回お二人には事前に「広報担当者として心に残っている東京マルイ商品」を幾つか挙げて頂いています。まずは石井さんどうですか?

石井 '97年ホビーショー限定モデルの電動ガン「AKスベツナス」は東京マルイ初の実銃にないオリジナルデザインで、これを決めた時には社内でも賛成派vs反対派でかなりの論争になりました。

COMBAT これオリジナル銃なのですか? そうは見えないほどまとまりのあるスタイルですね。

島村 一応、AKS74U(5.45mm)をイメージしていますが、AK47系(7.62mm)

でこういうのは存在しないはずですよ。

石井 「サバゲで使いやすい短いAKが欲しい」という要望がたくさん寄せられていて、社員の個人カスタム等も企画室にはあったので、幾度となく候補には上がっていたのですが、「架空モデルを作るなんて模型メーカーとして恥」と考える人も当時は多くてね。でもAKS74Uを完璧リアルに作るには時間もコストもかかり過ぎる。うまく妥協して今ある材料を活かし少しでも早く提供したい。なのでばくも含めた「AKスベツナス推進派」はギリギリまで知恵を絞って、発売前は一同「固唾を飲んで」という感じでした(笑)。結



02北演

令和2年度方面隊実働演習

2020年8月24日から9月10日にわたって、北海道の防衛警備を担当する北部方面隊による「令和2年度方面隊実働演習」が行なわれた。略して「02北演」と呼ぶ。人員約1万7千人、車両約5000輛、航空機約30機が参加する北部方面隊最大規模の演習だ。毎年秋に行なわれている年次演習ではあるが、今年は初めて“島嶼防衛”をテーマとし、敵役を水陸機動団が務めるなど、実戦さながらの“戦闘”が繰り広げられた。

北海道の防衛警備を担当する北部方面隊は、東西冷戦時代、海を挟んで隣り合うソ連を仮想敵としており、まさに日本の最前線を守ってきた。圧倒的物量を誇るソ連に対するため、2個師団（第2師団・第7師団）、2個旅団（第5旅団・第11旅団）、その他方面直轄部隊で構成されるなど、他方面隊よりも規模が大きいのが特徴だ。

とくに注目すべきは、戦車部隊の規模が、他方面隊と比べけた違いに大きい点だ。その代表例が第7師団である。同師団は、別名「機甲師団」とも呼ばれる戦車連隊を中心とした

陸自唯一の師団だ。ソ連が、戦車を中心とした機甲戦闘団を構成し、北海道へと侵攻してくると考えられていたことから、こちらも戦車で対抗する必要があった。こうしたことから、新装備は北海道から配備されていく流れがあり、90式戦車や対戦車ヘリAH-1Sコブラなどが配備されていた。

しかし、時代は大きく変わった。自衛隊が抱える喫緊の課題は、島嶼防衛強化だ。それは北部方面隊にも求められていく。

こうして2020年8月24日から9月10日にわたり行なわれた「令和2

年度方面隊実働演習」略して「02北演」では、初めて島嶼防衛をシナリオとした演習となった。

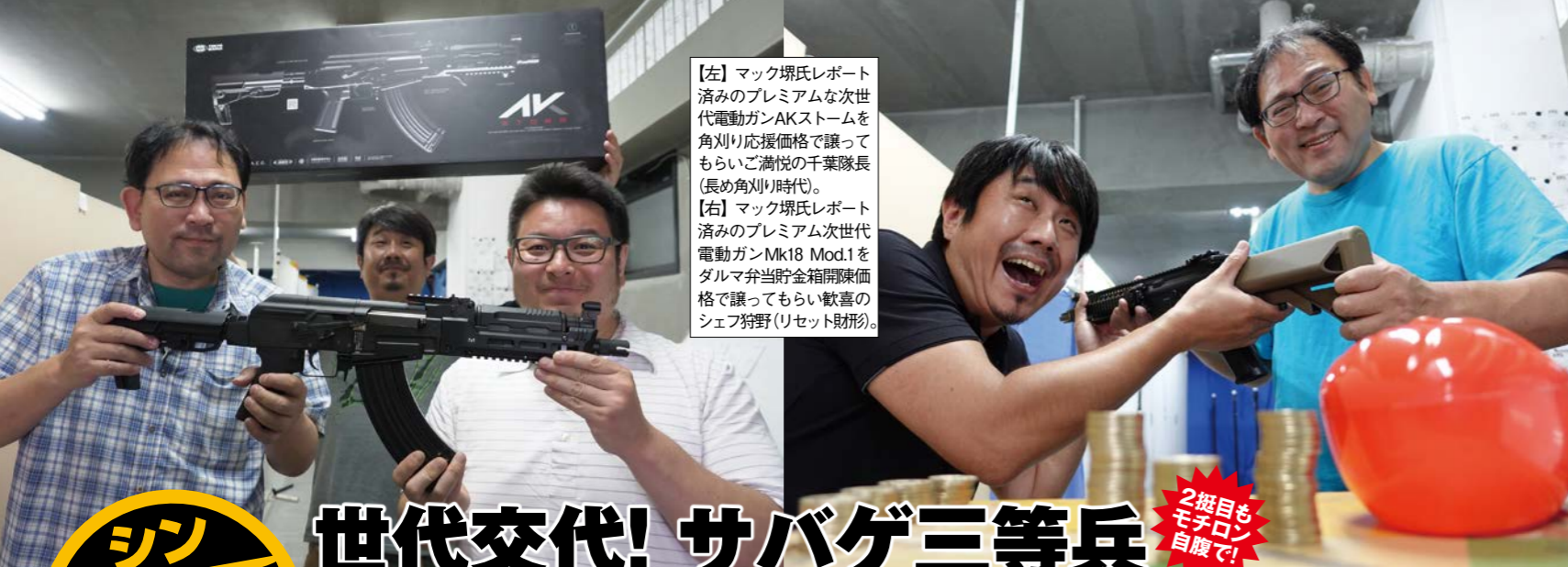
北海道内にある鬼志別演習場（猿払村）、孫別演習場（岩見沢市）、北海道大演習場（千歳市など）、矢臼別演習場（厚岸町など）といった演習場を“島”に見立てたのだ。例えば鬼志別演習場であれば、演習場の敷地内を島とした“鬼志別島”と想定する。演習場以外の場所は、海であり、移動するには船や航空機が必要となる。

この他“孫別島”“北大演（北海道大演習場の略）島”“矢臼別群島”な

どが用意された。北海道の広大な大地に日本南西諸島部が再現されたのだ。

この中で“鬼志別島”をめぐる戦いが報道公開された。この島を守るのは、第2師団・第26普通科連隊（留萌駐屯地）だった。これに対し、侵攻を企てる敵役を務めたのが日本版海兵隊こと水陸機動団（以下、水機団）だった。水機団が北演に参加するのは今回が初めて。水機団は、第1および第2水陸機動連隊を内包しているが、今回は第2連隊が参加した。海上輸送を担ったのは、護衛艦「かが」輸送艦「しもぎた」だった。

天塩町にある海岸線に着上陸を果たしたAAV7。この町には天塩訓練場という自衛隊施設があるが、この海岸線は含まれていない。訓練用に借りた形だ。



【左】マック塚氏レポート済みのプレミアムな次世代電動ガンAKストームを角刈り応援価格で譲ってもらいご満悦の千葉隊長(長め角刈り時代)。
 【右】マック塚氏レポート済みのプレミアム次世代電動ガンMk18 Mod.1をダルマ弁当貯金箱開陳価格で譲ってもらい大喜のシェフ狩野(リセット財形)。

2瓶目もモ子ロシ自腹で!

シン
 サバゲ三等兵
 SABAGE SANTOUHEOI

世代交代! サバゲ三等兵 次世代エアソフトガン大量投入! その実力は如何に!

●写真と文/織本知之
 ●撮影協力/ホビーショップ フロンティア <http://frontier1.jp/>
 サバイバルゲームフィールドPARADOX <https://paradoxjp.com/>
 狩野健一郎(食当たりボーイ)

長らくの自肅に次ぐ自肅でロクにサバゲもできなかった俺たちサバゲ三等兵。そのフラストレーションからくるココロの傷を塞ぐために必要

なモノは一体何か——? そう、軍拡だ。軍拡で傷を塞ごう! 荒んだ気分をワクワク感いっぱい新しいエアソフトガンで覆ってしまえばパラダイス! そして向

かうはPARADOX! というわけで、今月は単純快活無計画なおじさんたちが、新しいテッポーを買ってサバゲに行くまでを赤裸々にお届け! 本日の格言は

「年をとると体の傷は長引くが、心の傷はすぐ消える」と「コレ(小指立てる)とエアソフトガンは新しいほうがなかとギンギラギン」でお伝えします。

Mk18 Mod.1にくびったけシェフ狩野の場合



「支払いはこのダルマ弁当貯金箱にみっちり貯めた500円硬貨をお願いします!」byシェフ狩野
 「あ、うん。いいよ。今回は特別にお…(断ったあとの面倒を考えるのがまた面倒)」byフロンティア山中社長



「あ、ココで貯金箱、開けるんだ……」(山中社長)
 「いくよー! ワクワク!」(シェフ狩野)
 「押さえは任せて! パッチこい!」(千葉隊長)

ヤカラ感…否、PMC感満点! AKストームに決めた千葉隊長の場合

「第1印象から決めてました! これ下さい!」
 買うまでわずか全角19文字! これこそ男だ!



【三等兵捕掘】旧ソビエト軍に制式採用されたAK47はソビエト連邦崩壊後もロシアのAK100シリーズへ発展したアサルトライフル。このAK47に東京マルイ・オリジナルの現代化カスタムを施した「AKストーム」は取り回しやすいショートバレル、伸縮ストック、マグウェル、バックアップサイト付きのマウントベースなど、随所にカスタムを施された次世代電動ガンなのである!

さあ、それでは早速実践サバゲに投入! いざホームグラウンドサバイバルゲームフィールドPARADOXへ!



ロケ当日、前の晩に食べたカレーとナンに食あたりしたシェフ狩野が無念の欠席。もう上から下からチベット問題とこのことで本日は瀕死決定。シェフ狩野愛用予定のMk18 Mod.1を抱いた千葉隊長の慟哭嗚咽! 波瀾の幕開け(茶番劇場)。



シェフ狩野、シモの三峽ダム方面がエライことになって気の毒ということで愛銃Mk18 Mod.1をカッチョよく撮ってきました。誇らしげに伸びるレイルがオフエンシブス! 名銃Mk18 Mod.1を手にしたシェフ狩野の次回、怒涛の活躍に注目せよ!

ワテらとPARADOXで銃火を交えたプレイヤーの皆々様戦闘写真集。



PARADOXの定例会に集まるプレイヤーは濃いめのヒトビトが多く、フルオート戦だっってんのにといつ様もこいつ様もエアコキ担いできたりする。エントリーも腕自慢も等しく緑の洗礼を受け、安易な索敵は困難。ゆえに己を磨くには最適なフィールドと言える。さあサバゲーマーよ五感を研ぎませ!



全力でサバゲに興じる千葉“四十肩”隊長

ここPARADOXからサバゲスタートしたという「カッス」さん。このあと、見事な立ち回りや裏取りでフラッグをかっさらっての喝采をあげたサバゲ女子。今日は「グース」さんとご夫婦で参加。千葉隊長のAKストームは強敵でしたか? 「いや、多分カッスでもないと思う」by千葉隊長



カッスさんのご主人グース氏。PARADOXが大好きという御夫婦。フィールドでも夫婦で連携して敵を狩っていらっしやいました。独身編集長がすこしじっとりした眼で見ていたかもしれませんが、ひとつなかったこととしてこれからはPARADOX&サバゲ三等兵よろしくお願ひします。